

第一工業製薬 (コード 4461)

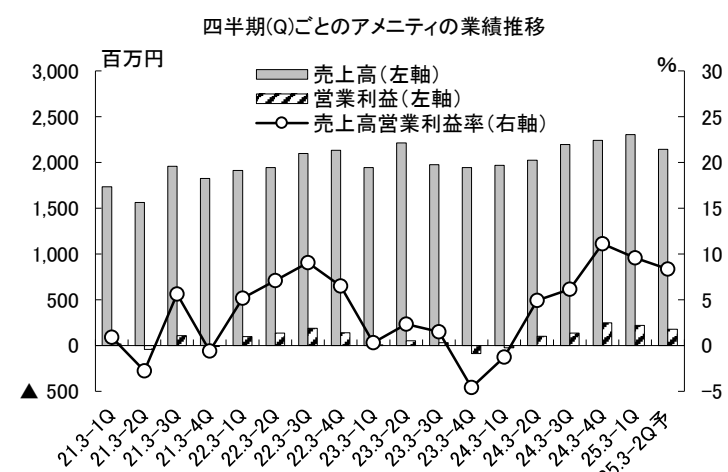
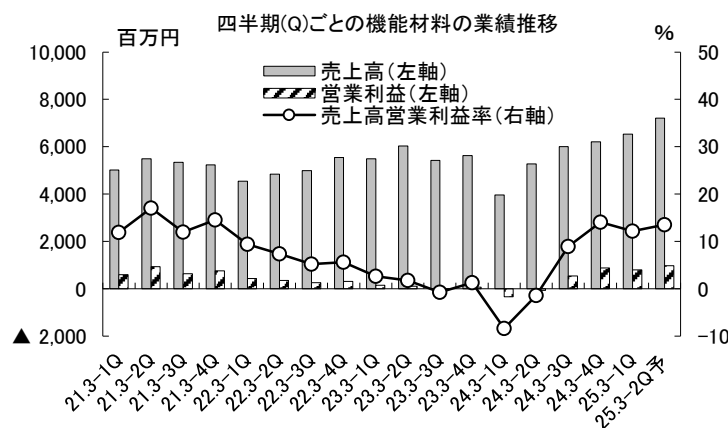
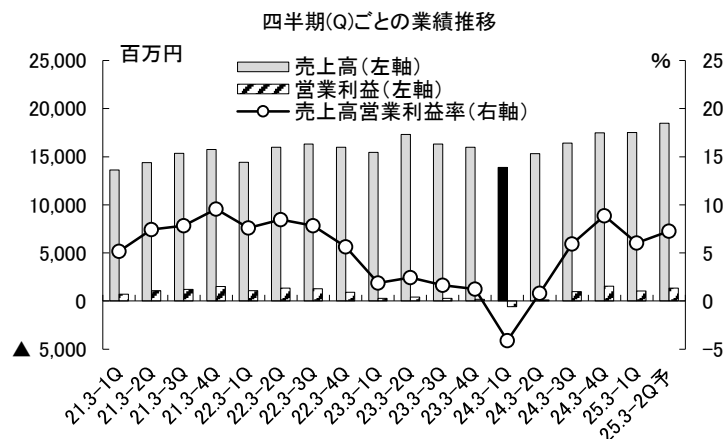
24年3月期第1四半期を底に回復続き、25年3月期予想も増額修正

第一工業製薬(4461)は、機能材料セグメントが大きく伸長していることや、基幹事業の界面活性剤セグメントも堅調に推移していることなどを背景に、このほど、25年3月期(以下、今期)の通期業績予想を増額修正した。今期の1株当たり配当金予想についても年間90円(従来予想70円)に増額している。

**25年3月期の通期業績見通し**…今期の通期業績については、売上高730億円(前期比15.7%増)、営業利益50億円(同140.7%増)、経常利益50億円(同142.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)25億円(同112.9%増)の見通しで、期初計画(売上高700億円、営業利益40億円、経常利益39億円、当期純利益20億円)から増額修正されている。セグメント別では、ハイエンドサーバ向けの製品需要が引き続き高まっていることなどを背景に、機能材料が売上高275億3,000万円(同28.4%増。修正前240億円)、営業利益35億7,000万円(同255.9%増。修正前23億5,000万円)と大きく伸びる見通しで、期初計画値から大幅に増額修正。売上構成比率は過去最高の37.7%(前期は34.0%)に、売上高営業利益率は13.0%(前期は4.7%)にそれぞれ高まる見込みで、業績全体のけん引役に。また、アメニティ材料についても売上高87億5,000万円(同3.8%増。修正前85億円)、営業利益7億円(同52.5%増。修正前6億円)の見通しで、期初計画値から増額修正されている。一方、基幹事業である界面活性剤は売上高196億9,000万円(同6.3%増。修正前200億円)、営業利益19億円(同4.6%増。修正前20億円)と、期初計画値から若干減額修正されてはいるものの堅調に推移する見込み。

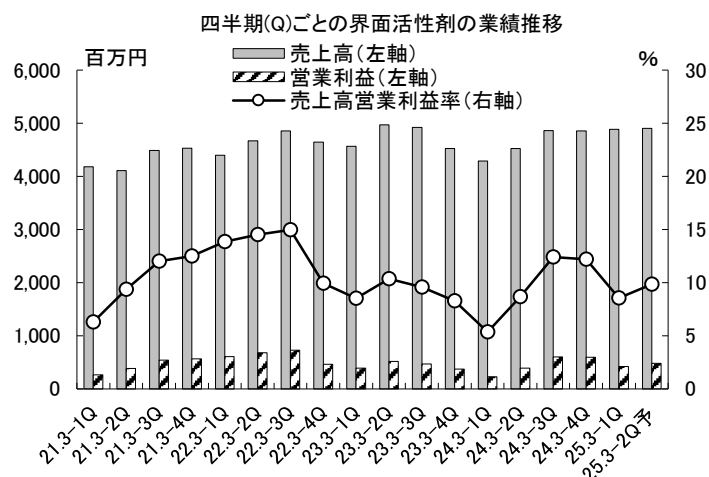
**25年3月期第1四半期の業績概況**…今期の第1四半期(24年4~6月)は、機能材料セグメントの大幅な伸びなどを背景に、売上高175億3,100万円(前年同期比26.3%増)、営業利益10億5,800万円(前年同期は5億7,200万円の損失)と、大幅増収、黒字回復となった。

四半期(3カ月)の状況では、24年3月期(前期)の第1四半期(23年4~6月)を底に業績回復が続き、今期に入ってもその勢いは衰えていない。前期の第1四半期は、売上高(上段グラフの黒棒で表示)138億8,400万円(前年同期比10.1%減)、営業損失5億7,200万円(前年



同期は2億9,100万円の黒字)に落ち込んだが、市況の緩やかな回復による需要増加や価格転嫁の進展などから、同四半期を底に売上高は反転し、価格改定及び経費削減による収益性改善によって利益も急激に向上。その後も期を追うごとに売上高、営業利益とも伸長し、業績回復が鮮明化してきた。今期は第2四半期(24年7~9月)についても、売上高184億7,200万円(同20.6%増)、営業利益13億4,200万円(同991.1%増)と大幅な増収増益が見込まれている。

業績伸長の要因として、まずあげられるのが、主力事業の一角に成長した機能材料セグメントで、ゴム・プラスチック用途の難燃剤が国内外で大きく落ち込んだことから前期の第1四半期に大幅減収、営業赤字となったが、ハイエンドサーバー向けなどの需要が大きく伸長し、第2四半期は売上高が拡大、営業損失額も急激に縮小した。さらに、第3四半期には増収に加え営業利益が黒字回復となり、第4四半期には営業利益がさらに拡大。今期に入ってもその勢いは衰えず、売上高営業利益率も期を追うごとに上昇し、21年3月期並みの数値まで回復してきている。また、アメニティ材料セグメントについても化粧品用途、食品用途を中心に堅調に推移していることから、売上高、営業利益が拡大基調にあり、売上高営業利益率も高水準に。基幹事業の界面活性剤セグメントについては、海外で塗料・色材用途が軟調だったものの、国内で石けん・洗剤用途が大幅に伸長したほか、IT・電子材料用途が堅調に推移し、前期の第1四半期を底に、凹凸はあるものの売上高、営業利益とも回復基調をたどっている。



◆各決算期の第1四半期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	14,413	1,094	48.2	—	—	—	—	—
23.3	15,441	291	9.7	—	—	—	—	—
24.3	13,884	▲572	▲50.0	—	—	—	—	—
25.3	17,531	1,058	63.6	—	—	—	—	—

◆通期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
22.3	62,672	4,626	244.8	80.0	5,520	▲2,700	▲2,336	12,151
23.3	65,081	1,186	▲41.9	80.0	724	▲2,883	▲1,030	9,051
24.3	63,118	2,077	122.8	65.0	7,091	▲2,008	1,646	15,947
25.3予	73,000	5,000	261.1	90.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。